

## 長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	9	-	事業名	広報事務等事業(広報事業)	担当部課	市長公室情報課
------	---	---	-----	---------------	------	---------

基本情報	総合計画	基本方針	5	みんなの力を結集する自治と協働のまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	4	行政情報を提供し、住民意見を聴く機会を充実する	款	2	総務費
		施策の進め方	-		項	1	総務管理費
	まちづくり 行程表	フラッグ	-		目	7	広報広聴費
		政策分類	-		大事業	2	広報事業
	その他(関係法令、要綱等)		-				
事業開始の背景、経緯等		行政情報を市民に正確に伝達し、まちづくりへの参加・協力への機運を高めるために実施している。					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市政情報を伝える事業として、広報紙発行、動画としての市政情報をケーブルテレビにおいて放映している。また、本市の名古屋市近郊という立地条件から市外から転入した市民等へ配布する公共施設ガイドマップも作成し、配布している。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内外の住民に対して					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 長久手市について深く知ってもらう。					
	事業を構成する事務事業	① 広報事務事業	改善・見直し	④ 公共施設ガイドマップ作成事業	現状維持		
	② 広報紙発行事業	現状維持	⑤ ケーブルテレビ番組制作事業	現状維持			
	③ 市勢要覧作成事業	現状維持	⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)		千円	予算		54,947	49,323	49,697
決算					51,967	46,229	46,637	
人件費(B)		千円	決算		14,195	9,822	12,793	
総コスト(A)+(B)		千円	決算		66,162	56,051	59,430	

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A	広報紙の内容についての不満足度	%以下	目標	5	5	5	5
実績				1	1	4	2	
B	番組の視聴頻度	%以上	目標	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
			実績	42.0	42.4	39.8	36.4	
C			目標					
			実績					

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A 広報の「見づらさ」「分かりにくさ」を解消することを目的として、市政・広報-eモニター「ながモニ」アンケート(以下「ながモニアンケート」という。)の「不満足度」の過去実績を参考に数値目標を設定する。

B 番組への「親しみ度合い(視聴の程度)」を把握するために、ながモニアンケートの「視聴頻度」の過去実績を参考に数値目標を設定する。

C

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 広報紙は全ての自治体で実施している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 概ね達成できている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 広報事業は、市民及び市外の住民へ市の情報を直接発信する重要な役割を果たしており、多様な手段を用いて発信する必要がある。今後も本市をとりまく環境に見合った情報発信方法を模索し、検討していく。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市内外の住民に対して、本市により興味を持ってもらうために、ながモニアンケート等を活用し、紙、映像等各媒体の特徴をいかした方法で、市政情報を伝えていく。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 市内外の住民に対し、長久手市の魅力、特色等を紹介し、長久手市を深く知ってもらう。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		広報事務等事業（広報事業）										
番号	①	事務事業名	広報事務事業		款	2	項	1	目	7	大事業	2	中事業	1
事務事業の期間		事務事業開始年度		-		終了（予定）年度		-						

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	市民を中心として市政に関するアンケートの実施や市民記者制度を実施している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	市政アンケートや市民記者に登録する市民等の数を増やし、市政に関心を持ってもらう。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算			2,038	2,043	1,851
		決算			1,415	1,430	
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 広報広聴事務賃金			1,067 千円				
② 消耗品費			126 千円				
③ 特別旅費			75 千円				

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
ながモニ登録者数	人	目標	100	100	100	100	90
		実績	107	96	97	81	
市民記者記事投稿件数	件	目標	50	50	50	50	50
		実績	49	53	49	44	
<備考：活動の概要（当該事業年度）>							
ながモニ登録者は20代から80代以上まで幅広く登録されており、6回のアンケートに対して約80%の回答率で回答を得ている。3人の市民記者から様々なテーマで44件の投稿があった。							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

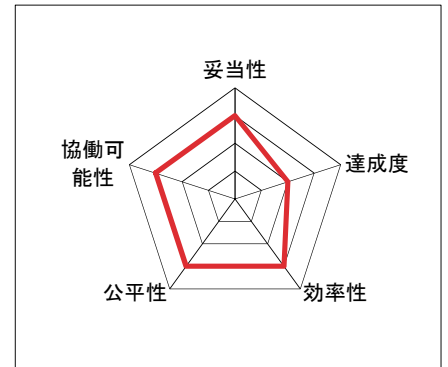
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
各種計画等の策定にあたっては、アンケート等をし、市民の意向を施策に反映させている。

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
ながモニの実施要綱を改定し、登録者の定着をはかる。登録者の記事投稿を促すような登録者同士の交流の場等を作っていく。
(何をどのような状態に改善したのか)
要綱改正により、ながモニについて、より多くの登録者を確保するため、市外居住者の登録ができるようにした。また、年度で登録更新するのをやめ、申し出がない限り、登録が続くようにした。市民記者の情報交換の場を設定し、各記者の記事内容について検証・情報交換した。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
本課のみならず他課もアンケートを活用することにより、事業のブラッシュアップが期待できる。

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
ながモニ登録者数及び市民記者記事投稿数を更に増やすことについて苦慮している。

## 7. 今後の方向性

**改善・見直し**

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
ながモニ及び市民記者について広く周知し、それぞれの登録者数を増やすこと及び市民が市政に関心を持つことを図る。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		広報事務等事業（広報事業）										
番号	②	事務事業名	広報紙発行事業		款	2	項	1	目	7	大事業	2	中事業	2
事務事業の期間	事務事業開始年度		昭和40年		終了（予定）年度	-								

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	毎月一回広報紙を発行し、市内に全戸（事業所を含む。）配布している。また、市内公共施設や大学にも設置し、利用者に周知している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	市内外の住民に、市政情報を提供する。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算			24,531	24,900	25,867
		決算			21,780	22,872	
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 印刷製本費					15,345	千円	
② 広報配布委託					7,437	千円	
③ 広報録音等委託					90	千円	

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
不満足度	%	目標	5	5	5	5	5
		実績	1	1	4	2	
		目標					
		実績					
<備考：活動の概要（当該事業年度）>							
平成29年8月号から、ボランティア団体「愛eyeクラブ」による記事の音声化を委託し、ホームページに公開している。また、平成29年11月号から、市内事業所へも配布し、事業所への来訪者及び従業員の目に触れるようにした。							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

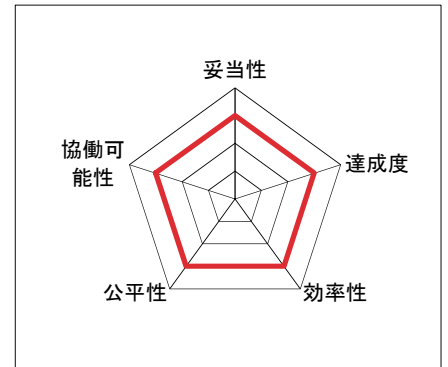
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
市政情報をわかりやすく伝える手段のひとつとして、月1回広報ながくてを発行している。幅広い年代層の市民を対象としていることから、紙面に掲載する情報が増加しており、紙面構成に苦慮している。

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
活動指標の不満足度（ながモニアンケート結果（広報紙が読みにくい））から、広報紙が読みにくいと感じている市民は少ないと思われるが、一方で「ご意見箱」で加齢により広報の字が小さく読みにくいとの意見があった。アンケート結果等を踏まえ、より読みやすい広報紙づくりに努めていく。
(何をどのような状態に改善したのか)
シニア向けのページは文字を大きくする、又は不要な表現は簡略化している。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



## 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)  
シニア向けのページは文字を大きくする、又は不要な表現は簡略化する等改善を図っている。また、広報配達員を市民から募集して、広報配達業務を行っている。平成29年8月号からボランティア団体による広報記事音声化を委託し、ホームページに公開している。11月号から市内事業所へも広報を配布し、事業所への来訪者及び従業員の目に触れるようにした。

## 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)  
紙面に対し、掲載情報が多い場合、見る人によっては文字が小さく感じることがある。必要最小限の文章量と文字の大きさについては常に苦慮している。

## 7. 今後の方向性

**現状維持**

## 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)  
活動指標の不満足度（ながモニアンケート結果（広報紙が読みにくい））から、広報紙が読みにくいと感じている市民は少ないと思われる。さらに読みやすい広報紙づくりに努め「市民主体のまちづくり」への参加を促していく。あわせて、男女共同参画の視点による表現方法（性別による固定的役割分担意識や固定観念にとらわれることない表現方法）に留意していく。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		広報事務等事業（広報事業）										
番号	③	事務事業名	市勢要覧作成事業		款	2	項	1	目	7	大事業	2	中事業	3
事務事業の期間	事務事業開始年度		-		終了（予定）年度	-								

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 視察で長久手市を訪れた方を中心に、長久手市の魅力、特色等の概要を広く紹介するための市勢要覧及びその補足資料を作成し、配布している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 長久手の魅力、特色等を知ってもらおう。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算 決算			238 175	238 304	267
＜事業費の主な内訳（当該事業年度）＞							
① 印刷製本費						304	千円
②							千円
③							千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
発行部数	部	目標	1,000	4,000	1,000	1,000	1,000
		実績	1,000	4,000	1,000	3,000	
		目標					
		実績					
＜備考：活動の概要（当該事業年度）＞							
取材、視察対応等、必要に応じて配布しているが、配布機会が増えたことにもない、増刷した。							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

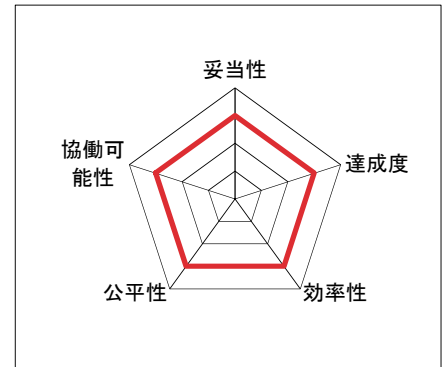
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
市勢要覧は約4年ごとに刷新するため、補足資料として人口、財政等情報を掲載した「長久手市データファイル」を毎年作成している。

## 5. 前年度からの改善状況

＜参考：前年度の事務事業評価のコメント＞
人口、財政、土地、生活等の市の情報に加え、様々な「市民の力をまちづくりに活かそうとする取組」を掲載し、紹介した。各分野で市民の力を活かしたまちづくりを進めている本市の特徴である「市民の力をまちづくりに活かそうとする取組」を多く掲載するとともに、取組が広がるような紙面作りに努めていく。
(何をどのような状態に改善したのか)
データファイルの取組紹介ページにおいて、関連する取組については記事掲載をまとめ、紙面の効率化を図り、読み手の関心の対象を広げるよう努めた。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
人口、財政、土地、生活等の市の情報に加え、「市民の力をまちづくりに活かそうとする取組」を多く掲載し、紹介した。

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
市勢要覧の内容の性質から市外からの視察来庁者等に対して配布しており、発行部数が少ない。

## 7. 今後の方向性

**現状維持**

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
人口、財政等情報に加え、様々な「市民の力をまちづくりに活かそうとする取組」を掲載し、各分野で市民の力を活かしたまちづくりを紹介した。取組が市民主体のまちづくりを促すような紙面作りに努めていく。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		広報事務等事業（広報事業）									
番号	④	事務事業名	公共施設ガイドマップ作成事業	款	2	項	1	目	7	大事業	2	中事業	4
事務事業の期間	事務事業開始年度			-			終了（予定）年度			-			

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	市民に対し、公共施設等の情報が入った地図（シティガイドマップ長久手（以下「ガイドマップ」という。））を作成する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	市民に、市内公共施設等の情報を提供する。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算			551	551	551
		決算			516	513	
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 印刷製本費						513	千円
②							千円
③							千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
発行部数	部	目標	5,000	8,000	5,000	5,000	0
		実績	5,000	8,000	5,000	5,000	
		目標					
		実績					
<備考：活動の概要（当該事業年度）>							
保育園等公共施設開設、N-バスルートの再編にあわせガイドマップの情報を最新の状況に更新した。							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

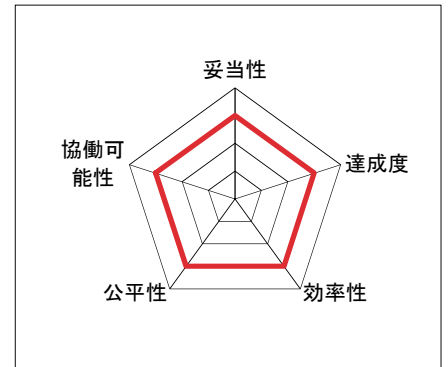
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
市外からの転入等の人口増加に伴い、ガイドマップ配布の需要は増えているものの、(株)ゼンリンとの協定による「暮らしの便利帳」等一部内容で類似する発行物がある。

## <参考：前年度の事務事業評価のコメント>

人口増加に伴い、ガイドマップ配布の需要も増加している中、(株)ゼンリンと協定して作成する「暮らしの便利帳」も転入した市民等に好評である。 今後は、地図と公共施設等の組み合わせた情報をどのような編集形態で市民へ提供していくのが市民にとってわかりやすく、かつ市の業務として効率的になるのかを研究して行く必要がある。また、他課が作成しているマップと統合できないか、検討していく。
(何をどのような状態に改善したのか)
ガイドマップ及び「暮らしの便利帳」は、双方とも地図を用い市内公共施設等を案内することから、今後は、(株)ゼンリンが広告料を集めて作成費用をまかなう「暮らしの便利帳」を活用し、市の費用負担で作成するガイドマップを縮小していく。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



## 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
(株)ゼンリンと協定して作成する「暮らしの便利帳」が特に転入した市民等に好評である。

## 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
-

## 7. 今後の方向性

**現状維持**

## 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
人口増加に伴い、ガイドマップ配布の需要も増加している中、(株)ゼンリンと協定して作成する「暮らしの便利帳」も転入した市民等に好評である。 双方とも地図を用い市内公共施設等を案内することから、今後は、市の費用負担で作成するガイドマップから(株)ゼンリンが広告料を集めて作成する「暮らしの便利帳」へ重点を移していく。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		広報事務等事業（広報事業）									
番号	⑤	事務事業名	ケーブルテレビ番組制作事業	款	2	項	1	目	7	大事業	2	中事業	5
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成10年度		終了（予定）年度		—						

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	ひまわりネットワーク契約者を中心として（市役所市民課前等でも視聴可能）、市政情報を動画で伝える手段として、ひまわりネットワークのケーブルテレビで、20分の情報番組（1日4回以上、月曜日に内容更新）を作成し放映している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	視聴者に対し市の事業や地域活動等をPRすることにより、市事業等に興味を持ってもらい、多くの市民がまちづくりに参画することを目指す。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算			21,965	21,965	21,965
		決算			22,343	21,518	
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
①		ケーブルテレビ番組制作・放送委託			21,505 千円		
②		放送受信料			14 千円		
③					千円		

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
視聴頻度	%	目標	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
		実績	42.0	42.4	39.8	36.4	
		目標					
		実績					

<備考：活動の概要（当該事業年度）>  
1週間の市政の動きや、地域の出来事を概ね2項目紹介する「ニュース」、市内の施設・事業（行事）・まちの話題などを紹介した「特集」、市に関することやまちづくりなどを掘り下げて紹介する「3min File」、市や外郭団体等が主催する行事や事業の啓発に関する「TOPICながくて」を年間40本制作し、放送した。

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

ケーブルテレビの未加入世帯にも主な番組の内容を見ることができるよう、インターネット環境の普及を生かしたストリーミング配信を行い、パソコンに加えてスマートフォンでも視聴することができるようにしている。

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>

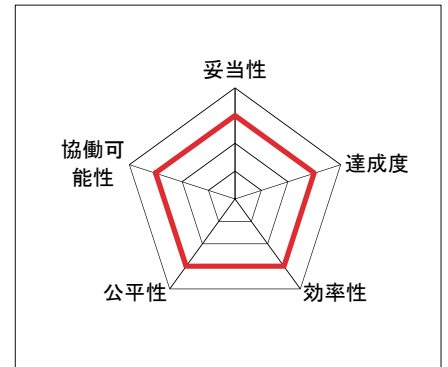
活動指標の視聴頻度（ながモニアンケート結果（毎週見る～月1回程度見る））から、目標を達成している。今後も、アンケート結果等を踏まえ、より視聴頻度の実績を上げる方法を研究する。

(何をどのような状態に改善したのか)

番組作成の取材を通して、取材対象者及びその関係者に番組を知ってもらい、視聴につなげることに努めた。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



## 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)

活動指標の視聴頻度（ながモニアンケート結果（毎週見る～月1回程度見る））がおおむね活動指標を達成している。

## 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)

番組で取り上げた団体への新たな市民の参加へつなげるよう番組内の参加告知を工夫する必要がある。

## 7. 今後の方向性

**現状維持**

## 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

活動指標の視聴頻度（ながモニアンケート結果（毎週見る～月1回程度見る））から、目標を達成している。今後も、アンケート結果等を踏まえ、より視聴頻度の実績を上げる方法を研究する。